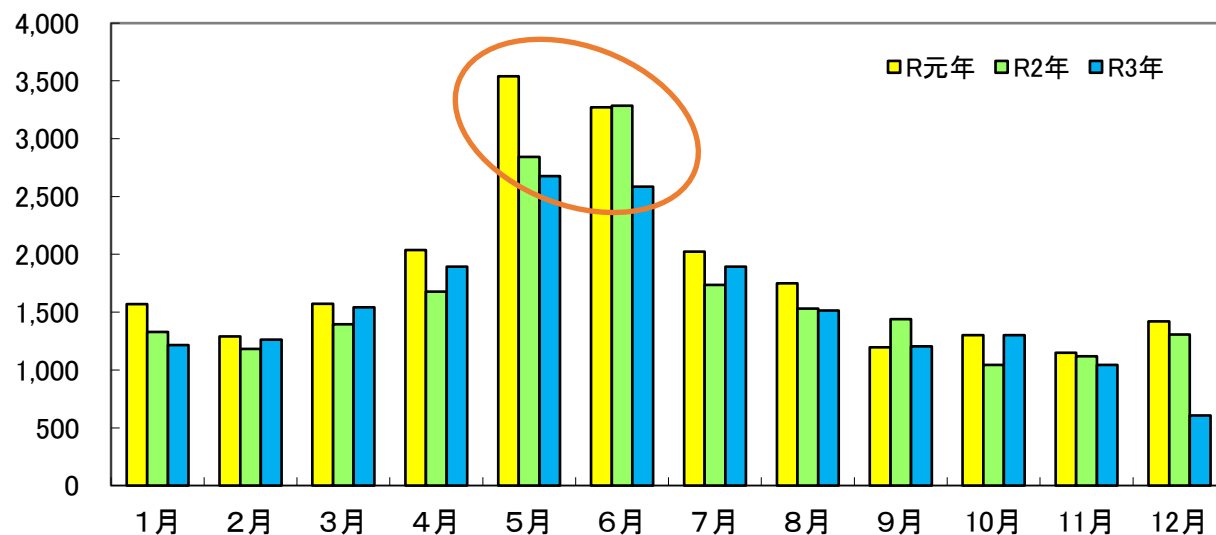


トマトの動向

〇年により差があるものの、5月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が低下する傾向が見られる。

(トン)

入荷量の推移



全国市場での
取扱数量

北陸域内市場
での取扱数量

北陸域内(4県)
からの入荷シェア

北陸域外からの
入荷シェア

325千トン

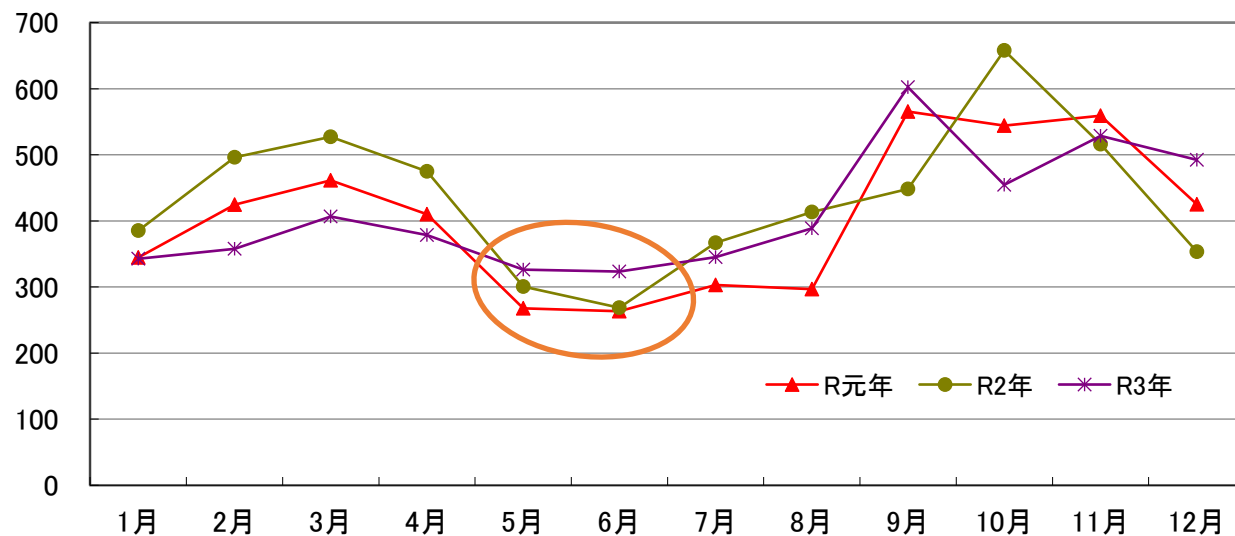
7.4千トン

26%

74%

(トン)

卸売価格の推移



注：トマトにはミニトマトも含む

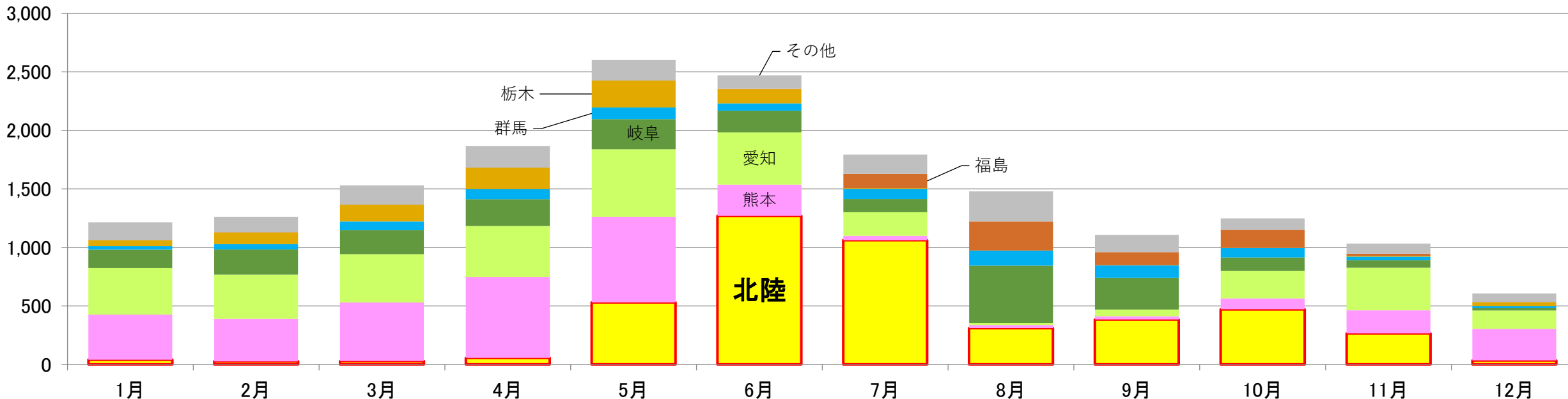
資料：指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、愛知、岐阜、熊本の3県で約6割を占め、北陸地域からのトマトの供給比率は26%となっている。石川、新潟、福井の3県とも北陸地域に出荷する割合が高いが、石川、福井では近畿地域への出荷が約4割となっている。

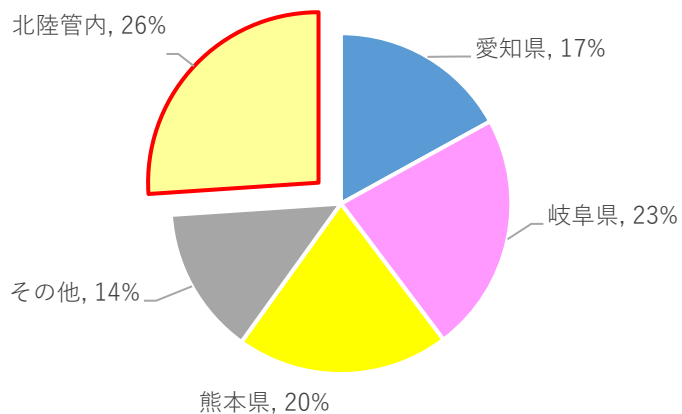
(トン)

月別・産地別入荷動向 (令和3年)

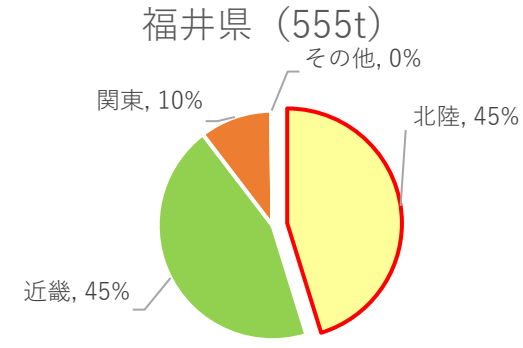
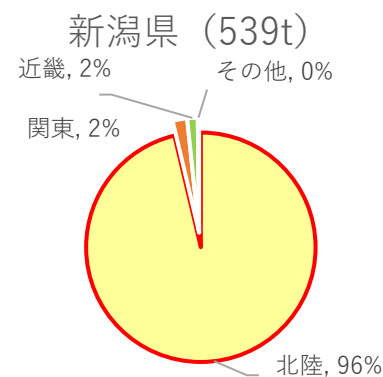
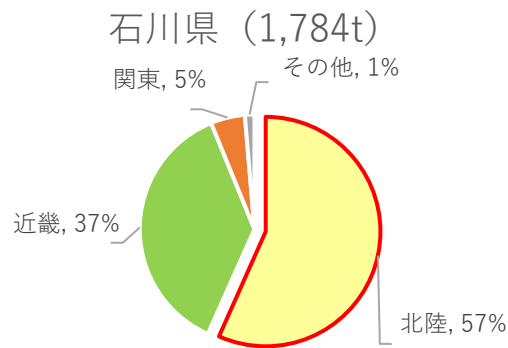
資料：指定野菜の入荷量と価格



産地別取扱割合



主要消費地域への出荷量



資料：令和3年青果物卸売市場調査報告